海にかかわる研究に挑戦したい中高生求む!

マリンチャレンジプログラム2019

募集テーマ **海・水産分野・水環境にかかわるあらゆる研究**

- 船や洋上風力発電所などの海や水中にかかわるものづくり
- 海の環境を知ることや守るための研究
- 海洋生物や水産物の生態・活用方法の研究

本プログラムでは、海・水産分野・水環境にかかわるあらゆる研究に挑戦する中高生研究者を対象に、研究費助成や研究サポートを行います。科学研究や海のおもしろさを知りたい、誰も答えを知らない新しいことに自分で挑戦する力を磨きたい仲間を募集しています!

助成内容

研究費5万円
各地区大会までの研究コーチ交通費支援(上限あり)

プログラムの流れ

申請	2018年12月16日(日)～2019年2月15日(金)
選考	2019年2月18日(月)～3月15日(金)
採択決定	2019年4月15日(月)頃
任命式	2019年4・5月
研究サポート	2019年4月～8月
地区大会	2019年7・8月
選抜チーム研究サポート	2019年8月～2020年2月

全国大会:2020年3月

募集要項

【募集期間】2018年12月16日(日)～2019年2月15日(金)
【募集対象】中学生、高校生、高等専門学校生(3年生以下)による2名以上のチーム
※異なる学校や学年による組成も可
【採択件数】①北海道・東北 ②関東 ③関西 ④中国・四国 ⑤九州・沖縄の5ブロックで計40チーム
【研究サポート期間】2019年4月～8月／全国大会出場15チームのみ2019年8月～2020年2月
※各地区大会で選抜された15チームには、2020年3月に予定する全国大会に参加いただきます(交通費支給(上限あり))

詳細・申請方法は
下記マリンチャレンジプログラムHPをご覧ください。
https://marine.s-castle.com/

2018年度全国大会 見学者募集!(要事前申込)

各ブロックの優秀賞受賞チームによる全国大会を2019年3月に開催!

【日時】2019年3月10日(日)10:00～18:00(予定)
【場所】新宿住友スカイルーム(東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル47F)
【内容】参加チームの研究発表、研究者講演、ポスター交流会

※地区大会発表時

ブロック	研究テーマ	研究代表者※	学校名
北海道・東北	季節による十八鳴浜の変化	齋藤 一輝	宮城県気仙沼高等学校
	植物を使って塩害土壌を克服するⅡ	末永 夏生	福島県福島市立渡利中学校
	藻類を活用し海水中の有用な金属イオンの回収を試みた基礎的な研究 ～アミミドロによるMg回収を目指して～	遠藤 瑞季	学校法人福島成蹊学園 福島成蹊高等学校
関東	災害時の使用を想定したポータブル海水淡水化デバイスの開発	藤堂 博仁	国立大学法人千葉大学 教育学部附属中学校
	小水力発電の普及	笹本 正真	山梨県立甲府第一高等学校
	農産物残渣を用いたウニの短期養殖	関戸 柚安	神奈川県立海洋科学高等学校
	水環境の指標動物となるミズダニの研究	佐藤 愛	山梨英和高等学校
関西	遺伝子マーカーを用いた淡水魚類に寄生する扁形動物門吸虫綱の生活環の解明	板谷 穂香	白陵中学校・高等学校
	シロアリが日本を救う!? ～シロアリ配合飼料が魚体に与える影響～	森本 大介	清風高等学校
	日本海漁業資源調査 ～ヒレグロの秘密にせまる～	牧之瀬 出海	兵庫県立香住高等学校
中国・四国	今治市近海に生息する海岸生物の寄生虫に関する調査	渡部 真衣	愛媛県立今治西高等学校
	降河回遊種モクズガニにおける海と川の続性の評価から、増殖へのアプローチ	田中 宏樹	金光学園中学・高等学校
	ヤバいほどアユが遡上しすぎる魚道の開発	小南 汐梨	岡山理科大学附属高等学校
九州・沖縄	ナマコの再生とキュビエ器官について	儀間 瑞季	那覇市立古蔵中学校
	ヒラメは川で生きられるか	友永 修造	長崎県立長崎鶴洋高等学校

〈主催・運営〉日本財団、株式会社リバネス、JASTO(一般社団法人日本先端科学技術教育人材研究開発機構)

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT　Leave a Nest　JASTO 一般社団法人日本先端科学技術教育人材研究開発機構

このプログラムは、次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人がつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。

お問合せ
株式会社リバネス　マリンチャレンジプログラム事務局　担当:瀬野
TEL:050-1743-9799　E-mail:ed@lnest.jp